

第36期(平成24年6月期)第2四半期決算説明会資料

株式会社ユビテック
代表取締役 荻野 司
(JASDAQ 6662)

本日ご説明申し上げる情報のうち、業界の動向や分析、当社の計画・見通し・戦略等につきましては、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となる可能性がございますことをご了承下さい。

なお本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

● 会社概要

次世代ユビキタス技術の創造に挑戦

技術と顧客志向

プロフィール紹介

ユビテック プロフィール

1977年11月	会社設立
1986年 9月	新日本製鐵(株) の子会社となる
1993年 4月	液晶プロジェクター用 映像エンジン の開発
1998年 4月	ATM (現金自動支払機)、両替機用検知ユニットの開発
1999年 4月	液晶テレビ用映像エンジンの開発
2002年 4月	(株)インターネット総合研究所の100%子会社となる
2004年 7月	タウ技研(株)から(株)IRIユビテックへと社名変更
2004年 9月	パナソニック電工(株) (現: パナソニック(株))資本参加
2004年11月	三井物産(株) 資本参加
2004年10月	ISO14001・9001認証同時取得
2005年 6月	大証ヘラクレス市場に上場 (証券コード:6662)
2006年 8月	(株)ユビテックソリューションズ(旧(株)日本エンジニアリングシステム)を子会社化
2007年 4月	ベトナムに「Ubiteq Solutions Vietnam, Ltd.」設立
2007年11月	オリックス(株) のグループ会社となる
2007年12月	(株)IRIユビテックから (株)ユビテック へと社名変更 パナソニック電工(株)(現:パナソニック(株))資本提携発表(第二位大株主へ)
2008年 7月	大阪事務所開設
2008年 9月	オリックス自動車(株)カーシェアリングサービス「ブチレンタ」用車載システムを開発。
2008年11月	オフィス向けインターネットと設備制御の統合ゲートウェイ「BX-Office」を開発
2009年 7月	BXシリーズ&UEW(ユビテックエネルギーウォッチャー)販売開始
2009年12月	ネットワンパートナーズ(株) とBX-Officeの販売代理店契約を締結 ネットワンパートナーズ(株)から シスコ合同会社のルータ と当社のBX-Officeシリーズを組み合わせた CFMS by BX-Office販売
2010年 7月	オリックス(株) の直接子会社となる BX-Office をSaaS TYPEIに進化させた「UBITEQ-G-SERVER」、「UBITEQ-G-PILOT」の提供開始
2010年12月	SaaS型省エネサービス 「Ubiteq G Service」の提供開始
2011年 2月	キャノン Sタワー に「Ubiteq Green Service」を導入
2011年 6月	「Interop Tokyo 2011 Best of Show Award」で「Ubiteq Green Service」が 特別賞 を受賞
2011年 9月	大塚商会本社 に「Ubiteq Green Service」を導入
2011年10月	「グリーンITアワード2011」で「Ubiteq Green Service」が 経済産業省商務情報政策局長賞 を受賞
2011年12月	日本マイクロソフト本社オフィス に「Ubiteq Green Service」を導入

荻野 司 プロフィール

1986年キャノン(株)入社。中央研究所を経て、ハードウェア及びソフトウェア設計等、新製品の開発に携わる。その後、ISP事業開始のため1996年ファストネット(株)へ出向。1999年同社取締役に就任。2000年(株)インターネット総合研究所(以下、IRI)執行役員に就任。同年(株)インターネットシーアンドオー代表取締役社長に就任し、キャノングループやNTTファミリー企業とジョイントベンチャーによるMSP(Managed Service Provider)事業を起業する。

2000年から(社)日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)のIP担当理事を務め、日本におけるインターネットの普及・基盤整備に尽力。また、IPv6普及・高度化推進協議会には設立時より参画し常務理事を務めIPv6普及の啓蒙活動にも注力。2002年にIRI取締役に就任し、同年、ユビキタス時代におけるネットワーク、コンピュータとの融合技術を中心とした研究・開発組織、ユビキタス研究所を設立。また、IPv6・センサネットワークワーキングコンソーシアム運営委員を務め、non-PCや施設管理におけるインターネット利用など、次世代インターネットプロトコルIPv6を基軸としたインターネット高度利用研究にも注力。

2003年9月に(株)ユビテック代表取締役社長に就任し、2005年6月には大阪証券取引所ヘラクレススタンダードに同社の上場を果たす。(証券コード6662)

また、2005年からは、ワイヤレスブロードバンド推進協議会の発起人も務め、WiMAXを中心とする次世代インターネット技術の普及や啓蒙活動に注力する一方、現在は、ファシリティ分野におけるIT利活用のための活動として、東京大学におけるグリーンITプロジェクトに参画。ITを用いた「やりたくなる省エネ」の実現に注力している。静岡大学創造科学技術大学院 客員教授(2004年-2009年)、同大学院アドバイザー(現)も務める。

役員構成

明石直人(常務取締役) * 常勤	(株)富士銀行(現 (株)みずほコーポレート銀行)等を経て平成16年2月入社
白木道人(常務取締役) * 常勤	キヤノン(株)を経て、平成16年7月当社入社
野方孝之(取締役) * 常勤	(株)日本債券信用銀行(現 (株)あおぞら銀行)、三洋電機(株)等を経て、平成18年6月当社入社
徳田英幸(社外取締役)	カーネギーメロン大学 計算機学科を経て慶応義塾大学 政策・メディア研究科委員長 兼 環境情報学部長
江崎浩(社外取締役)	(株)東芝 総合研究所、ベルコア社、コロンビア大学CTRを経て東京大学 大学院教授
梁瀬行雄(社外取締役)	(株)あさひ銀行(現 (株)りそな銀行)頭取を経てオリックス(株)相談役 兼 (株)TDK取締役
小島一雄(社外取締役) * 非常勤	オリックス(株)執行役不動産ファイナンス本部長などを経て、平成20年6月に取締役兼専務執行役に就任
林雅弘(取締役) * 非常勤	日本アイ・ビー・エム(株)、(株)デロイトトーマツコンサルティング(現アビームコンサルティング)、等を経て (株)日本エンジニアリングシステム(現(株)ユビテックソリューションズ)代表取締役社長
松井和明(社外監査役) * 常勤	(株)富士銀行(現 (株)みずほコーポレート銀行)、(株)ジャックス 常務取締役を経て平成16年6月当社監査役就任
小林稔忠(社外監査役)	東京証券取引所、日本勧業角丸証券(株)(現 みずほインベスターズ)公開引受部長、 (株)日本ソフトバンク(現 ソフトバンク(株))常務取締役を経て平成16年9月当社監査役就任
与謝野 肇(社外監査役)	(株)日本興業銀行(現 (株)みずほコーポレート銀行)、興銀インベストメント(株) 取締役社長、みずほキャピタル(株) 専務取締役を経て平成16年9月当社監査役就任
高橋通(社外監査役)	キヤノンカメラ(株)、キヤノン(株) 取締役、Canon USA Inc. Executive Vice President & CTO, Canon Development Americas Inc. President &CEO を経て平成18年9月当社監査役就任

事業セグメントと主な事業内容

事業名称	主な事業内容	キーワード
電子機器事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ATM(オートテラマシーン)に内蔵されている主要モジュールシステム 開発・生産業務 ● カーシェアリング車載システム等のサーバーと端末のセットソリューションサービスの開発・生産業務 ● テレマティクスサービスのサーバーと端末のセットソリューションの開発・生産業務 ● ハードウェア設計、ファームウェア設計、量産化設計から生産までを一貫して実施 ● 上記テクノロジーを融合させた新技術の開発業務 	<p>セキュリティモジュール スキャナセンサ カーシェアリング テレマティクスサービス</p>
モバイル・ユビキタス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話端末評価業務 ● IPネットワーク(有線・無線)設計・構築・運用支援業務 ● 次世代ネットワークテクノロジー「IPv6」に関する技術開発業務 ● Web2.0テクノロジーを活用したWeb2.0ソリューション事業 ● 省エネ対応ソリューション開発 ● 組み込み型ソフトウェアの受託開発およびシステム開発等の人材派遣 	<p>ユーザーエクスペリエンス WiMAX IPv6 SNS、マッシュアップGIS 省エネ 金融システム、医療システム</p>

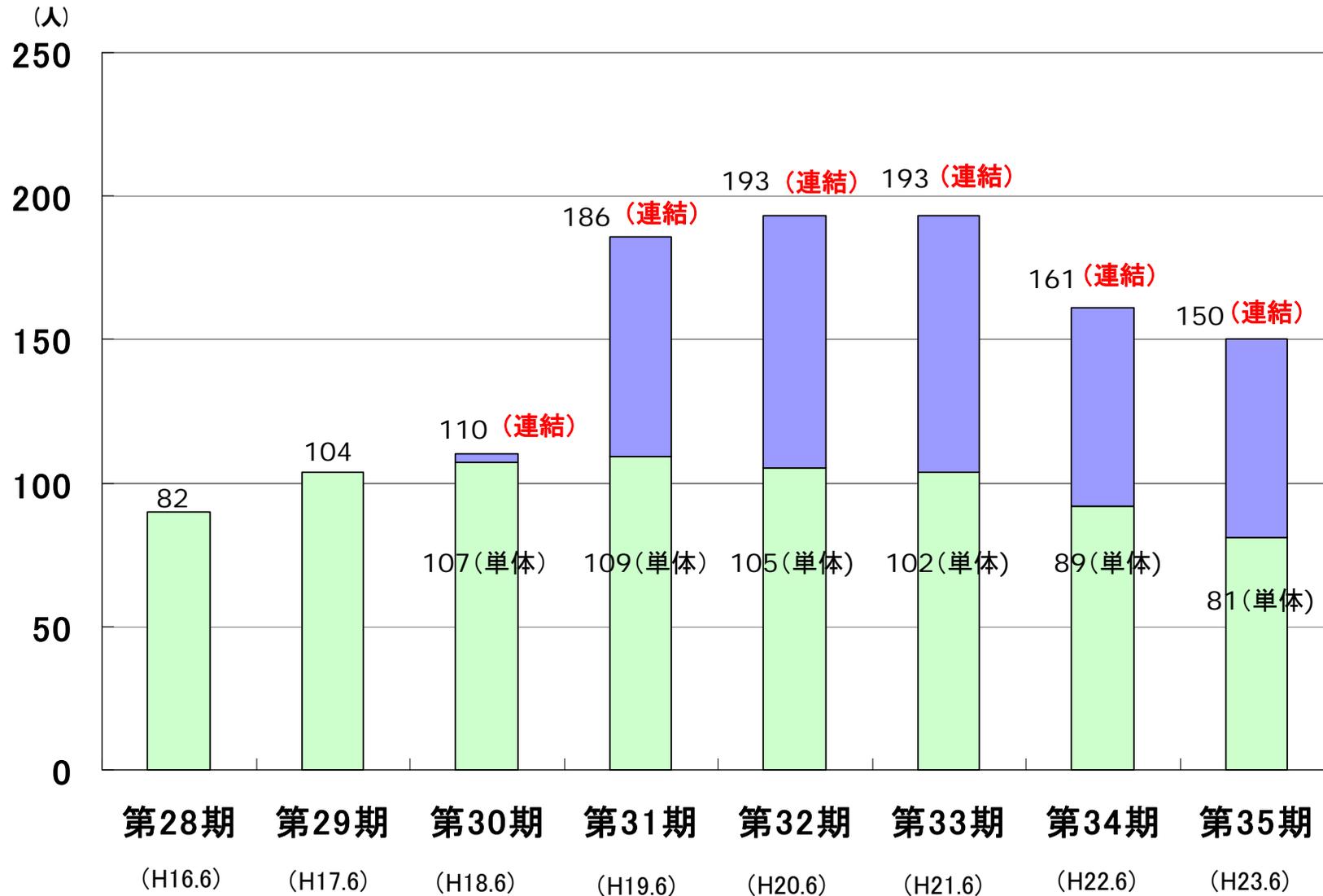
株主構成

(2011.12.31現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
オリックス株式会社	85,272	59.69
パナソニック電工株式会社 (現:パナソニック株式会社)	14,400	10.08
荻野 司	2,805	1.96
大阪証券金融株式会社	1,590	1.11
ノムラ インターナショナル	1,000	0.70
その他	37,785	26.46
合計	142,852	100.00

※上記には当社所有の自己株式1,400株は含まれておりません。
※出資比率は議決権数の比率を記載しております。

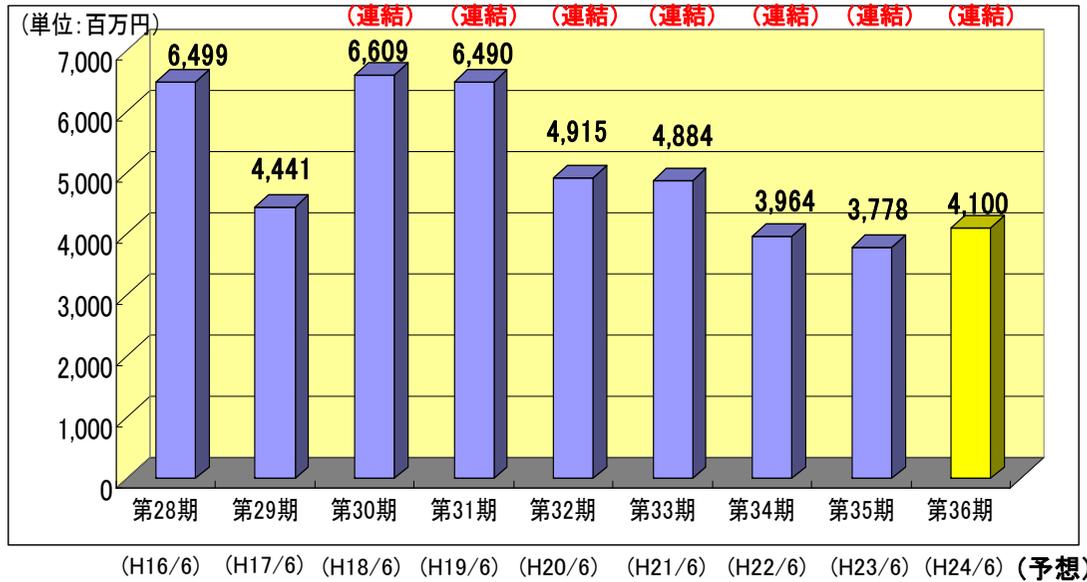
人員推移



注) 出向者、派遣、アルバイトスタッフなどは除いた人数となっております。

- 当社業績について

過去業績推移

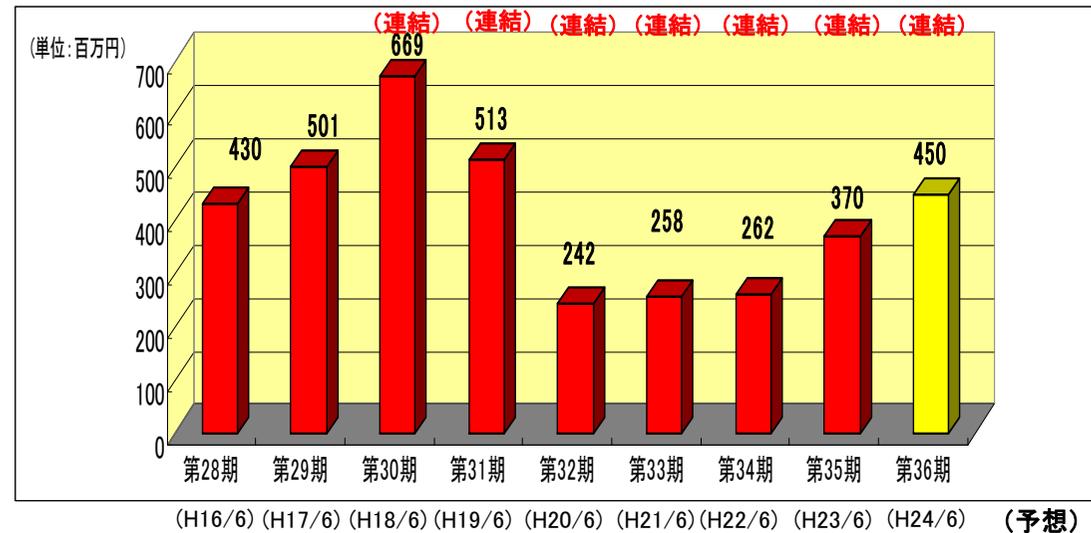


業績トピックス

- 第28期: 売上高の半分以上はシャープ向け映像エンジン。
- 第29期: シャープ向け売上高大幅減少し、前期比売上高▲20億円となるも、高利率案件確保し営業利益は前期比増加。
- 第30期: WiMAX支援事業により大幅増収増益。
- 第31期: WiMAX支援事業大幅減少するも、センサー事業(ATM等)・映像事業(UBIRIS)好調で売上高ほぼ横ばい。
- 第32期: センサー事業大幅減少により前期比大幅減収減益。
- 第33期: モバイル事業・UBIRIS受注が減少したが、パナソニック電工からの受注増加、オリックス自動車向けカーシェア車載機販売開始により営業利益前期比微増。
- 第34期: モバイル事業、子会社の受注減及び電子機器既存量産品が減収となるも、コスト削減及び自社開発製品で営業利益は前期比微増
- 第35期: 電子機器事業は、生体認証モジュールや紙幣鑑別ユニット等のセンシングモジュールの需要回復による受注が増加し、オリックス自動車向けカーシェア車載機が堅調に推移。UGSも拡販中。

売上高

営業利益



※第30期(H18/6)より連結開始

第35期(平成23年6月期)通期決算概要

(単位:百万円)	第35期 (H23.6) 売上	前年同期 売上実績	前年比 (増減)	前年比 (%)	第35期 (H23.6) 営業利益	前年 営業利益 実績	前年比 (増減)	前年比 (%)
電子機器事業	2,001	1,959	42	2.2	444	330	114	34.6
モバイル・ユビキタ ス事業	1,777	2,004	△227	△11.4	286	275	11	4.1
共通費	—	—	—	—	△360	△342	△17	5.2
合計	3,778	3,964	△185	△4.7	370	262	107	40.9

■セグメント別トピック

電子機器事業

- ・紙幣鑑別ユニット等のセンシングモジュールの需要回復で受注が増加
- ・自社製品であるオリックス自動車(株)向けの車載機事業が堅調
- ・関係協力会社にも協力を頂き、仕入れコストや外部委託費用の削減を継続
- ・震災の影響による部品調達の遅延発生。

モバイル・ユビキタス事業

- ・携帯電話評価の業務の受注が減少
- ・省エネソリューションのUbiteq Green ServiceがキヤノンSタワーに採用されるなど売上、利益増加に寄与
- ・IPネットワーク事業の業務委託や総務省公募案件も継続
- ・子会社の利益改善や継続的な業務効率化等によるコスト削減

第36期(平成24年6月期)第2四半期決算概要

(単位:百万円)	第36期2Q (H23.12) 売上	前年同期 売上実績	前年比 (増減)	前年比 (%)	第36期2Q (H23.12) 営業利益	前年 営業利益 実績	前年比 (増減)	前年比 (%)
電子機器事業	1,191	1,057	133	12.6	274	243	31	12.9
モバイル・ユビキタ ス事業	603	847	△243	△28.7	2	130	△127	△97.7
共通費	—	—	—	—	△150	△185	35	18.9
合計	1,795	1,905	△110	△5.8	127	188	△61	△32.7

■セグメント別トピック

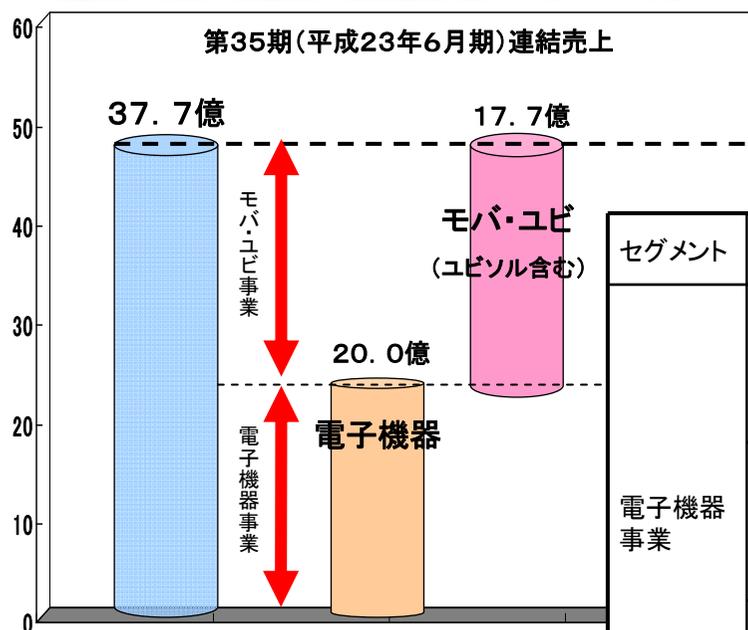
電子機器事業

- ・一部のセンシングモジュールが生産終了も、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが好調に推移
- ・カーソリューション事業も東日本大震災による市場停滞や部材手配遅延の影響があったものの前期並みの売上を計上
- ・仕入れコストや外部委託費用についても削減を継続

モバイル・ユビキタス事業

- ・子会社のユビテックソリューションズは好調に推移
- ・携帯電話の評価業務については受注が減少し、パナソニック電工(現パナソニック)との開発案件も前期で終了
- ・Ubiteq Green Service(UGS)は引き続き開発投資は行っているものの、当初見込んでいた売上を計上するには至らず
- ・UGSは多くの企業から継続的な引き合いをいただいている状況も、顧客の投資に対する意思決定には長時間を要する傾向

ユビテック事業一覧(セグメント別)



セグメント		現在	将来
電子機器事業	画像(センシング)	【顧客】日立オムロンターミナルソリューションズ、富士通フロンテック他 【製品】スキャナセンサ、セキュリティモジュール、医療系センサモジュール	【展開】同業他社へ横展開 【製品】各種モジュールとネットワークの融合製品開発
	車載機端末	【顧客】オリックス自動車 【製品】カーシェアリング用車載端末システム、テレマティクスサービス	【展開】テレメトリック関連サービスへ 【製品】ユビキタス端末
	その他	【顧客】エクシング 【製品】カラオケ関連端末	【展開】機器メーカーへ 【製品】高速化、高精細化
モバイル・ユビキタス事業	モバイル	【顧客】ソフトバンクモバイル 【サービス】携帯電話端末総合評価	【展開】携帯電話キャリアへ 【サービス】情報端末系
	ユビキタス	【顧客】パナソニック電工、SBI、日本医師会、総務省、IPA 他 【サービス】ネットワークおよびインフラの設計と構築、省エネソリューション	【展開】CATV、住宅・不動産産業、テナントオフィスへ 【サービス】次世代ネットワーク、Web2.0、省エネ
子会社	ユビテックソリューションズ(ユビソル)	【顧客】アロカ、日本電子、日本無線 【サービス】機器組込みソフトウェア開発、業務用アプリケーション開発	【展開】医療、通信メーカーへ 【サービス】機器組込みソフトウェア開発、業務用アプリケーション開発

貸借対照表(B/S)サマリー推移

(単位:百万円)		第32期	第33期	第34期	第35期	第36期2Q
流動資産		3,477	3,411	3,519	3,834	3,752
	うち現金及び預金	1,507	1,876	2,273	2,801	2,405
	うち受取手形及び売掛金	1,457	1,121	1,003	835	1,209
固定資産		439	385	312	241	229
	うち有形固定資産	99	80	83	76	65
	うち無形固定資産	67	50	32	16	16
	うち投資その他資産	272	255	196	148	147
資産合計		3,917	3,796	3,832	4,076	3,981
流動負債		906	706	643	695	573
	うち支払手形及び買掛金	636	429	441	417	415
	うち短期借入金	—	—	—	—	—
固定負債		77	79	66	61	60
	うち長期借入金、社債等	—	—	—	—	—
負債合計		984	785	709	757	634
資本金		853	853	860	877	880
純資産合計		2,933	3,011	3,122	3,318	3,347

資金残高
は高水準

日立オムロン
ターミナル
ソリューションズ
向け売掛金増加

借り入れ
ゼロ

自己資本比率82.8%。高水準を維持。

キャッシュ・フロー(C/F)サマリー

(単位: 百万円)	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90	402	419	531	△343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	4	△42	△1,040	74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88	△34	△20	△3	△36
現金及び現金同等物の増減額	△313	368	354	△522	△315
現金及び現金同等物の期首残高	1,808	1,507	1,876	2,193	1,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,507	1,876	2,193	1,671	1,355

売掛金
増加

36期 (2011年7月 ~ 12月)

-
- 2011/12/14 ユビテックの技術を活かした復興支援 ~宮城県山元町に車載計測式ガイガーマップ「UGM」を提供~
-
- 2011/12/14 ユビテックの技術を活かした復興支援
~宮城県山元町に町内巡回バスの位置情報表示システム「ぐるりんマップ」を提供~
-
- 2011/12/01 日本マイクロソフト本社オフィスに「Ubiteq Green Service」を導入
~マイクロソフトテクノロジーと融合した新たな見える化の価値を創造~
-
- 2011/10/28 NEDOの省エネルギー革新技术開発事業に採択
~「Ubiteq Green Service」を利用した電力需要制御システムの研究開発~
-
- 2011/10/04 「グリーンITアワード2011」授賞式 ~「Ubiteq Green Service」が経済産業省商務情報政策局長賞を受賞~
-
- 2011/09/30 ユビテックソリューションズ、デジコンと共同で企業の教育・研修配信サービスを開始
-
- 2011/09/14 大塚商会本社に「Ubiteq Green Service」を導入 ~国際標準規格IEEE1888でスマートビルを実現~
-
- 2011/08/24 ユビテックの技術を活かした復興支援 ~宮城県山元町にデジタルサイネージ「UGS情報POD」を設置~
-

株価推移

(2012/2/10までのチャート)



2005年12月20日	1株→2株の株式分割
2006年2月20日	立会外分売 827株
2006年4月7日	ブロックトレード 500株
2006年10月3日・5日	ブロックトレード 2,500株
2007年2月23日	自己株式取得完了(買付株式数:350株 買付総額:75,474,000円)
2009年4月1日	1株→4株の株式分割

1株当たり配当金

平成22年6月期配当実績	250円
平成23年6月期配当実績	300円
平成24年6月期配当予想	300円

配当利回り 0.72% (平成24年2月10日 株価:41,800円)
配当性向 23.2% (平成23年6月期)

【基本方針】

下記2点をバランスを取りながら実施

- ①企業価値の最大化に向けた内部留保の確保
→事業拡大、成長投資(人材への投資、設備投資等)
- ②株主の皆様への還元

- 当社事業概要と今後の展開

UBITEQ BE GREEN

～ユビテックはBE GREENソリューションを進化させ、
新しくUBITEQ BE GREEN SOLUTIONとして提供を開始します～

- 「UBITEQ BE GREEN SOLUTION」とは、地球環境保全に向け、企業の課題を解決するユビテック新環境ソリューションです。
- 当社のユビキタス技術を駆使し、
「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」の実現を支援します。



当社製品を活用した「省エネ・CO2削減」「安心・安全」
「業務効率化」環境を実現する「UBITEQ ECO PROJECT」
活動を全社的に推進しております。



また「UBITEQ ECO PROJECT」活動の
推進により、チャレンジ25参加法人
としての啓蒙活動も積極的に行っております。

- UBITEQ BE GREEN SOLUTION製品
- Ubiteq Green Service製品
- カーソリューション製品
- Ubiteq G-Service
- カーシェアリング車載機
- Ubiteq G-Server
- テレマティクスサービス
- CFMS-II

「UBITEQ BE GREEN SOLUTION」の提供を通じて、環境に優しい持続可能な社会（循環型社会）作りに貢献していきます。

カーソリューション事業(UCIS事業)

※ UCIS ⇒ Ubiteq Car Information System

カーソリューション事業の歩み

2008

2009

2010

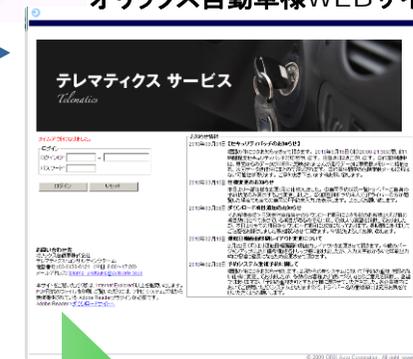
カーシェアリング：車載端末（車種限定）



テレマティクスサービス：
車載端末（国産普通車対応）
+サーバ/WEB=システム全ての提供を実現



オリックス自動車様WEBサイト



EVエコドライブシステム開発・実証



カーシェアとテレマティクスの融合
端末からWEBまで統合したASPサー
ビスの提供へ

グリーンICT
プラットフォーム

テレマティクスサービス

テレマティクスサービスとは

テレマティクスとは通信モジュール(通信機器)を搭載した車載機をいいます。
テレマティクスサービスはこの車載機で取得した車両情報を通信回線を通じて管理サーバーに取得、蓄積します。
蓄積したデータを活用して、インターネットから運行管理に有効な情報をお客様に提供するサービスです。

ユビテックはオリックス自動車(株)の
テレマティクスサービスサイトの構築・運用
を提供しています。

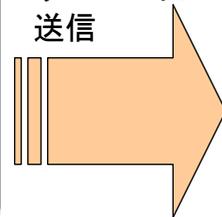


車載機を搭載した自動車は下記の情報を取得できます。

- 走行距離
- 車速情報
- 燃費情報
- 位置情報

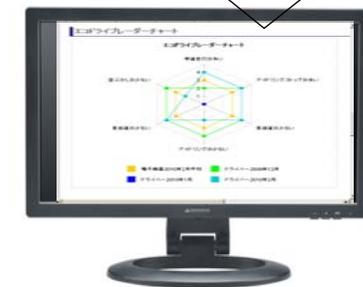
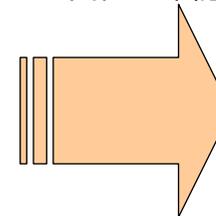
これらの情報を通信回線を通じて管理サーバーに送信されます。

取得情報を
サーバーに
送信



管理サーバー

運行管理情報を
WEB画面で確認



WEB画面から、
・運転日報(運転者の運転動向の確認)
・車両情報(燃費、急ブレーキなど)
・車両運行情報(配車計画の確認)
が確認できます。

テレマティクスサービス特長

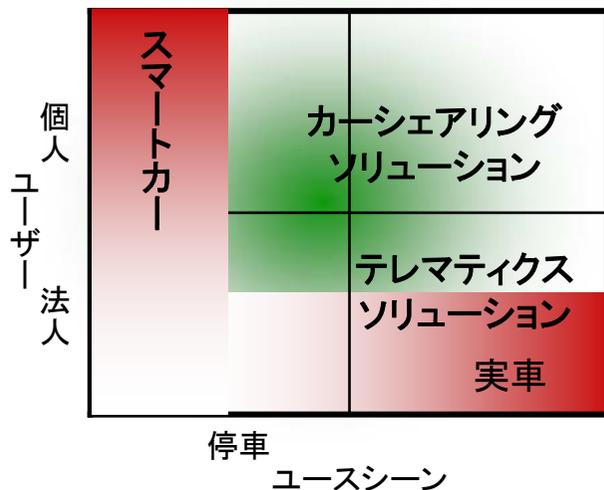
- 車両を効率的に利用できる
- 安全・安心な運転を遵守させられる
- 燃費を向上し、ECOを実現できる
- 運転日報等を自動化できる

- ドライバーの運転行動を各種データで「見える化」
- 「コンプライアンス」「環境」「安全」のリスク軽減
- ガバナンスの強化、CSRの向上を図ることができる

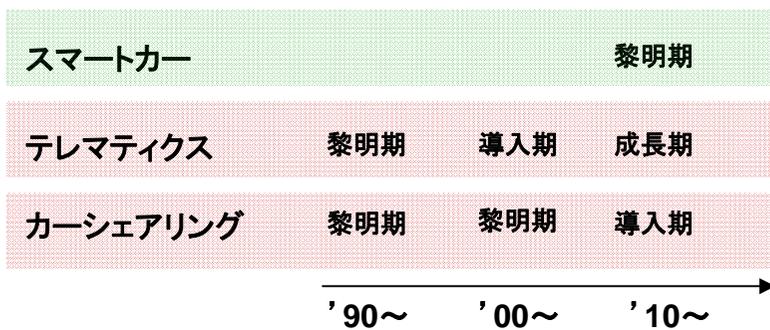
用途市場の分析

■ UCISの展開する用途市場

UCISが展開する市場は3つに分類。



現在、テレマティクスが成長期を迎える他、カーシェアリングは導入期であり、スマートカーは今後市場化が期待される。



■ 個別市場の概況

IT進化と普及により実現される市場

・カーシェアリングソリューション

- + 市場そのものの歴史は古く、スイスでは1987年から
- + 1stステージ: 車両電子化や社会環境動向で勃興
- + 2ndステージ: 温暖化防止とIT進化が成長を誘因
- + 3rdステージ: 長い黎明期が終わり、現在導入期。

	開始年 (年)	車両数 (台)	会員数 (人)	1台あたりの会員数 (人)	人口 (人)	人口普及率 (%)	調査年 (年)
アメリカ	1998	8,120	448,574	55	309,140,000	0.15%	2010.7
スイス	1987	2,350	93,700	40	7,700,000	1.22%	2010.6
日本	2002	3,911	73,224	19	127,692,000	0.06%	2011.1

※交通エコロジー・モビリティ財団による2011年1月データ、およびカーシェアリング事業会社の発表

・テレマティクスソリューション

- + 車両メーカーによるサービス展開(1998年～、日本)
- + 個人への有料サービスが根付かない一方、特殊用途として発展(デジタコ、ドラレコ)。
- + 法人向け車両運行動態管理サービスとして、総合化/発展
- + 黎明期導入期を終え、安定成長期となる。

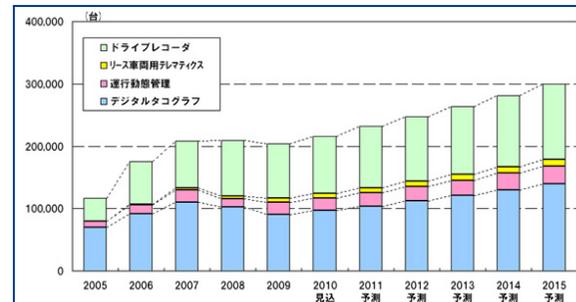


図1: 商用車向けテレマティクスサービス端末4品目別出荷台数推移(国内、05~15年度、台数ベース) (矢野経済研究所推計)

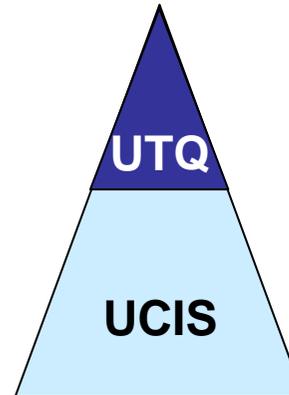
・スマートソリューション

- + スマートシティでのエネルギー貯蔵機能を提供
- + まだ概念インフラが固まらず、黎明期の段階

カーソリューション事業ビジョン

■ UCIS事業ビジョン

- ・車(ドライバ)をセンシング
=>機能(付加価値)を提供
- ・車(ドライバ)を分析
=>機能(付加価値)を提供



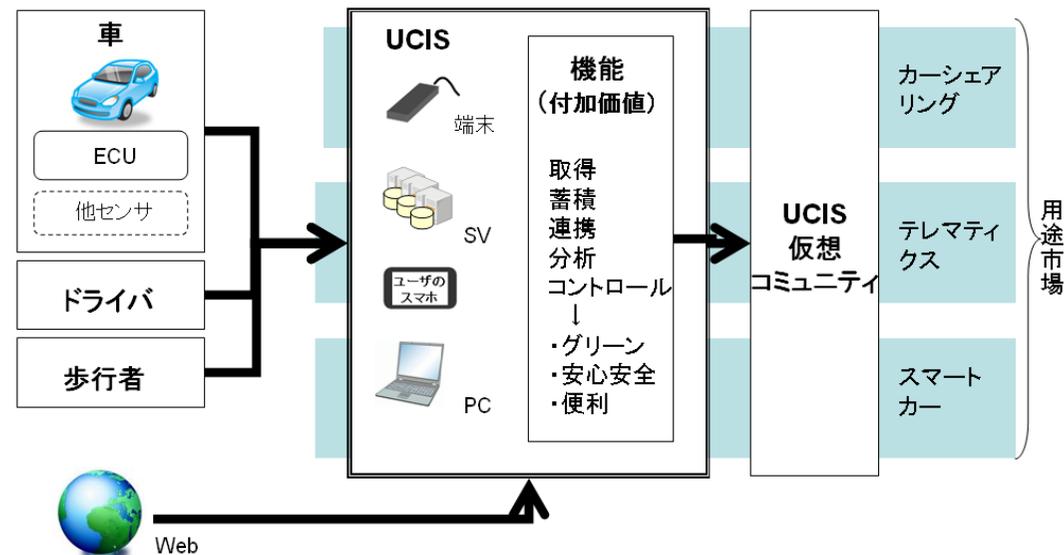
人を感じて動く。
人に合わせて動く。

車(ドライバ)を感じて動く

車(ドライバ)に合わせて動く

■ UCIS事業の概要

- ・車やドライバをセンシング
- ・歩行者情報取得やインターネット情報との連携等とあわせ、情報を蓄積分析
- ・カーシェアリング、テレマティクス、スマートカーといった用途市場にのせ、UCIS仮想コミュニティ(ユーザー)に対し、付加価値を提供
- ・提供するものは、グリーン、安心安全、便利



環境エネルギー事業

継続的な省エネ・節電のために

～UGSによる快適な省エネのすすめ～

2011年夏の節電対策

1.BEMSを用いた節電対策

広範囲エリアの管理・制御、一年毎のスケジュール運転による調整
⇒ 思い通りには節電ができなかった

BEMS(Building and Energy Management System)

特徴: 需要予測に基づいた最適運転

照明: フロア毎または広範囲エリア毎のON/OFF

空調: フロア毎または広範囲エリア毎のON/OFF (温度/風量の個別調節不可)

その他: 熱源設備/電気設備/エネルギー使用量監視/給配水設備の監視/消防用設備の監視、動作制御/防犯監視



2.人手による節電対策 (BEMSの有無に関わらず)

無駄な電力の削減

15%節電

デマンド監視装置
ピーク値を検知し、
手動電源OFF

手間がかかる...

ピーク電力

空調の出力を制限
出力70%

暑すぎる...

照明間引き点灯

暗すぎる...

我慢と人手の節電！！従業員への負担大！！

東電、企業向け
電力料金値上げ

※東電は原子力発電所の事故以降、代わりに動かす火力発電所の燃料費負担が増え、経常赤字が続いている。

今年4月から
2割前後引き上げ？

産業界 負担増
5000億円

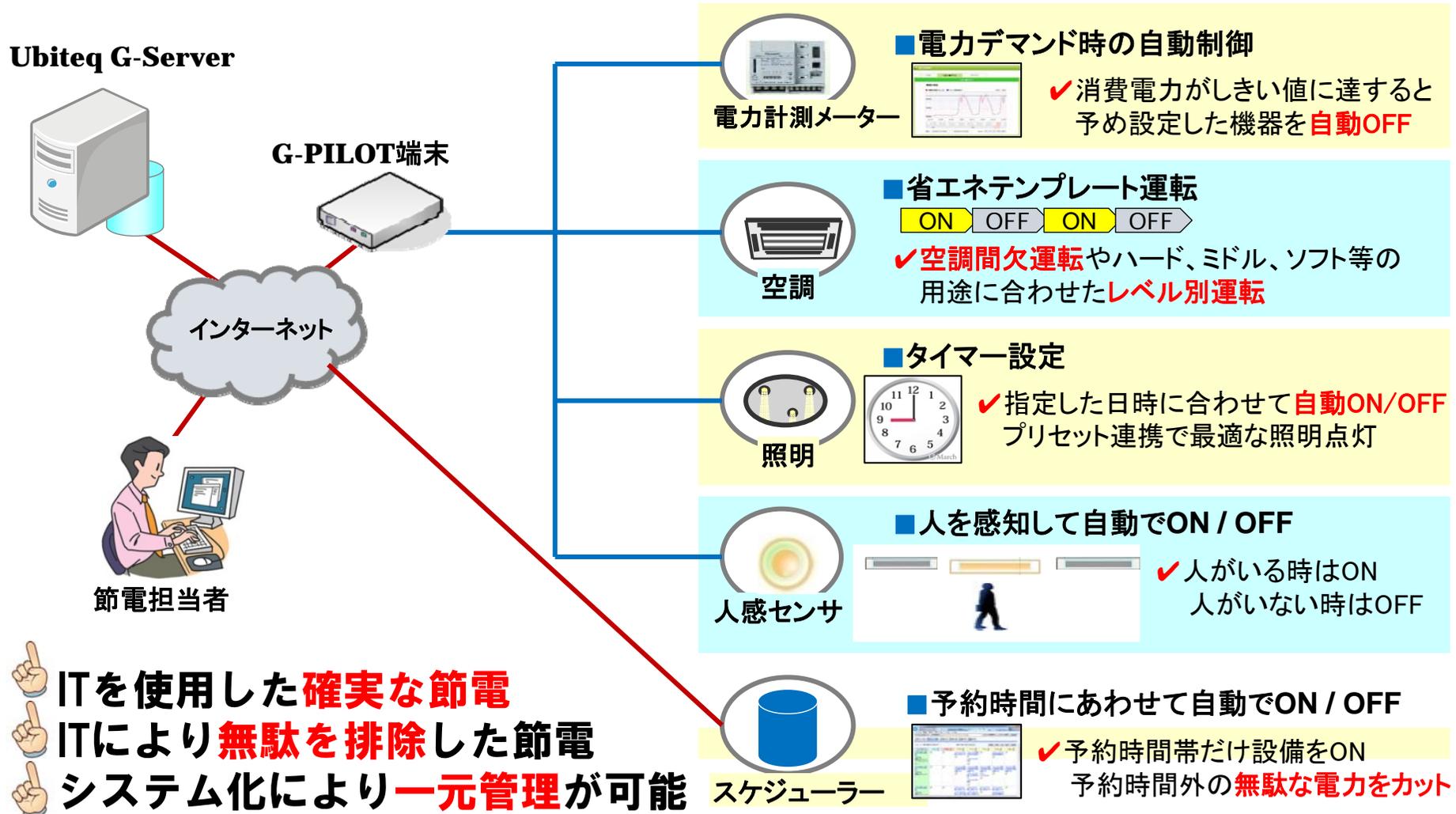
●今年も電力は逼迫

- ・ 原発再稼働の目処は立たず、ピーク需要に対する供給不足
- ・ 燃料費増で電気料金も値上げ

2012年も節電は必須！！

人手の節電を今後も
継続できるのか！？

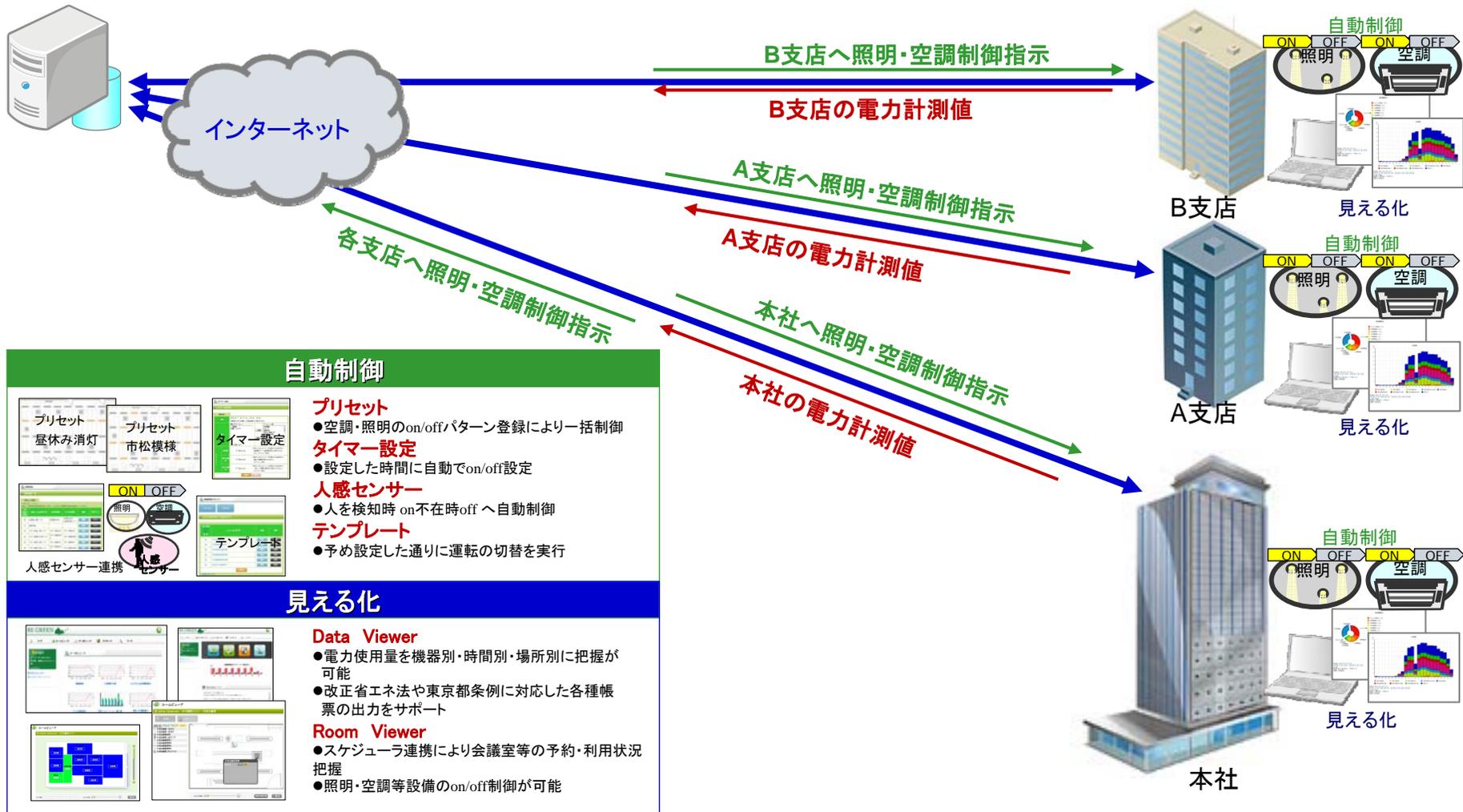
人手による節電からITによる節電へ



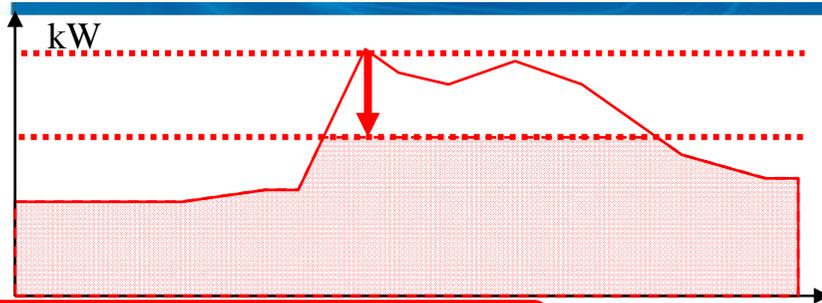
多拠点管理/制御

Ubiteq G-Server

- IPネットワークで複数拠点の電力を統合管理
- 照明・空調・IT機器の集中管理で省エネ/節電を実現



二つの節電



A. ピークシフト

- ・ ピークを下げる

【対策】

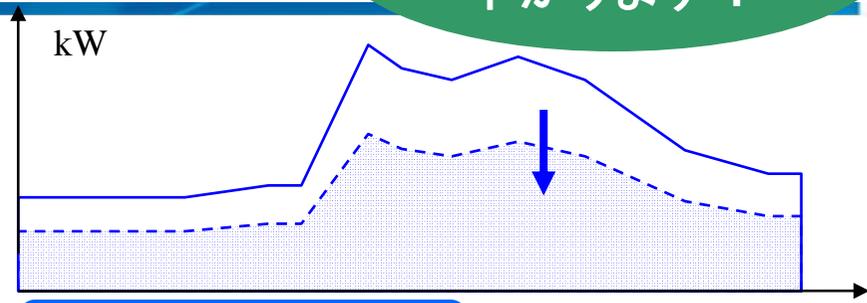
- ・ 利用時間をずらす
- ・ 使いすぎたら電源を切る

基本料金削減

UGSなら

電力デマンド通知機能

- ✓ 目標ピーク超過でアラーム通知
- ✓ 通知と同時に自動制御で対処
- ✓ レベル設定、復帰制御も可能



B. 総量削減

- ・ 全体使用量を下げる

【対策】

- ・ こまめな節電
- ・ 空調設定温度調整

電力量料金削減

CO2削減

UGSなら

連携制御

- ✓ 人感センサー、タイマー、会議室予約など様々な連携機能で無駄を発見、自動対応
- ✓ テンプレートで空調間欠運転など人手でできない小まめな制御に対応

自動制御できるUGSならどちらも可能

UGS電力デマンド通知機能

UGSなら
下がります！

特長 1

アラーム登録30個！

緊急度別アラーム設定
フロア別アラーム設定

特長 2

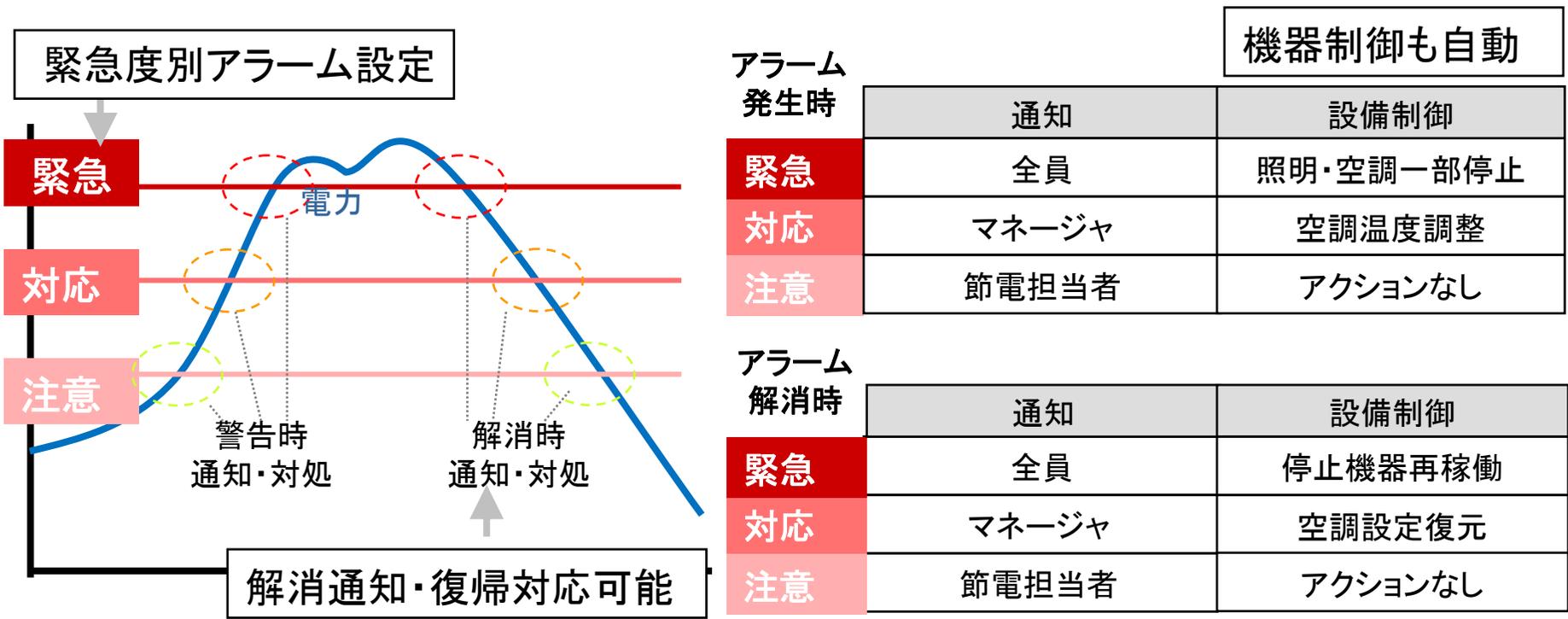
自動機器制御

警告発生時の電源off
などのアクションも自動

特長 3

解消通知・対応可能

使い過ぎ解消時も通知
復帰動作も自動



UGSの活動事例

■プロジェクト発足

- 2008年6月大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授を代表として、企業 23 社 + 10 団体 (2010年5月12日現在: 32社 + 13団体) で発足。

■発足目的:

■消費電力削減による地球環境保全と活動環境の改善

■Green of IT と Green by IT の両軸に足を置いた省エネ技術の研究・開発

- Green of IT: 省エネ技術を用いたITの省電力化
- Green by IT: IT技術を活用した省エネの実現



させられる環境対策からやりたくなる環境対策



プロジェクト概要

東京大学本郷地区の工学部新2号館(2005年施工 地上12階 総合研究教育等)をモデル的な舞台として、個別に運用されていた施設の設備制御管理システムを総合接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、ITによる省エネとIT環境自体の省エネの両立を実証する。

東京大学『工学部』から東京大学『全学』コンソーシアムへ 日本発(FIAP)世界標準へ

POINT 産学連携型コンソーシアム

POINT グローバル標準化への責任と貢献

POINT 新ビジネスの創成と育成・展開



2008年10月9日



2009年10月28日



2009年10月5日

アイビー テクノス 株式会社
 旭化成エレクトロニクス株式会社
 伊藤忠商事株式会社
 株式会社 ウィルコム (WILCOM)
 株式会社 NTTファシリティーズ
 オムロン 株式会社
 鹿島建設 株式会社
 株式会社 関東コーワ
 コクヨ 株式会社
 清水建設株式会社
 Cisco Systems Japan
 CITRIX SYSTEMS JAPAN 株式会社
 シムックス 株式会社
 ダイキン工業 株式会社
 株式会社 竹中工務店
 株式会社 デジタル
 株式会社 ディー・エス・アイ
 株式会社 東芝
 株式会社 日本アジテック
 日本電信電話 株式会社 (NTT)
 日本電気 株式会社
 パナソニック 株式会社
 パナソニック電工 株式会社

富士通 株式会社
 三井情報 株式会社
 三菱商事 株式会社
 株式会社 三菱総合研究所
 富士ゼロックス 株式会社
 株式会社 山武
 株式会社 ユビテック
 横河電機 株式会社
 渡辺電機工業 株式会社

LONMARK JAPAN
 東京都環境科学研究所
 岡山IPv6コンソーシアム
 FNICコンソーシアム
 社団法人電気学会
 社団法人電気設備学会
 グリーンIT推進協議会
 WIDEプロジェクト
 IPv6普及高度化推進協議会
 名古屋大学
 立命館大学
 慶應義塾大学
 東京大学

赤字は発起人(組織)

(2011年12月末現在)



1. 東京とで最大のCO2排出事業所
2. 科学技術の象徴
3. 他大学への影響力と波及力
4. 排出量の多い「東京」
5. 「学」施設の象徴



ユビテックのポジション:

- ・プロジェクト創立メンバー
 - ・見える化WG 主査
 - ・プロトコル標準化 副査
- FIAP基本機能を次期BACnet
およびIEEE1888の海外推進

東京大学のエコ活動:
GUTPと協力して、全キャンパスの消費
電力見える化システムを構築

2011年夏の成果:

ピーク電力 31%カット
消費電力量 23% 削減

2008年プロジェクト始動

リーダー: 江崎教授

2011年10月現在
メンバー数: 65組織

GUTPの成果:

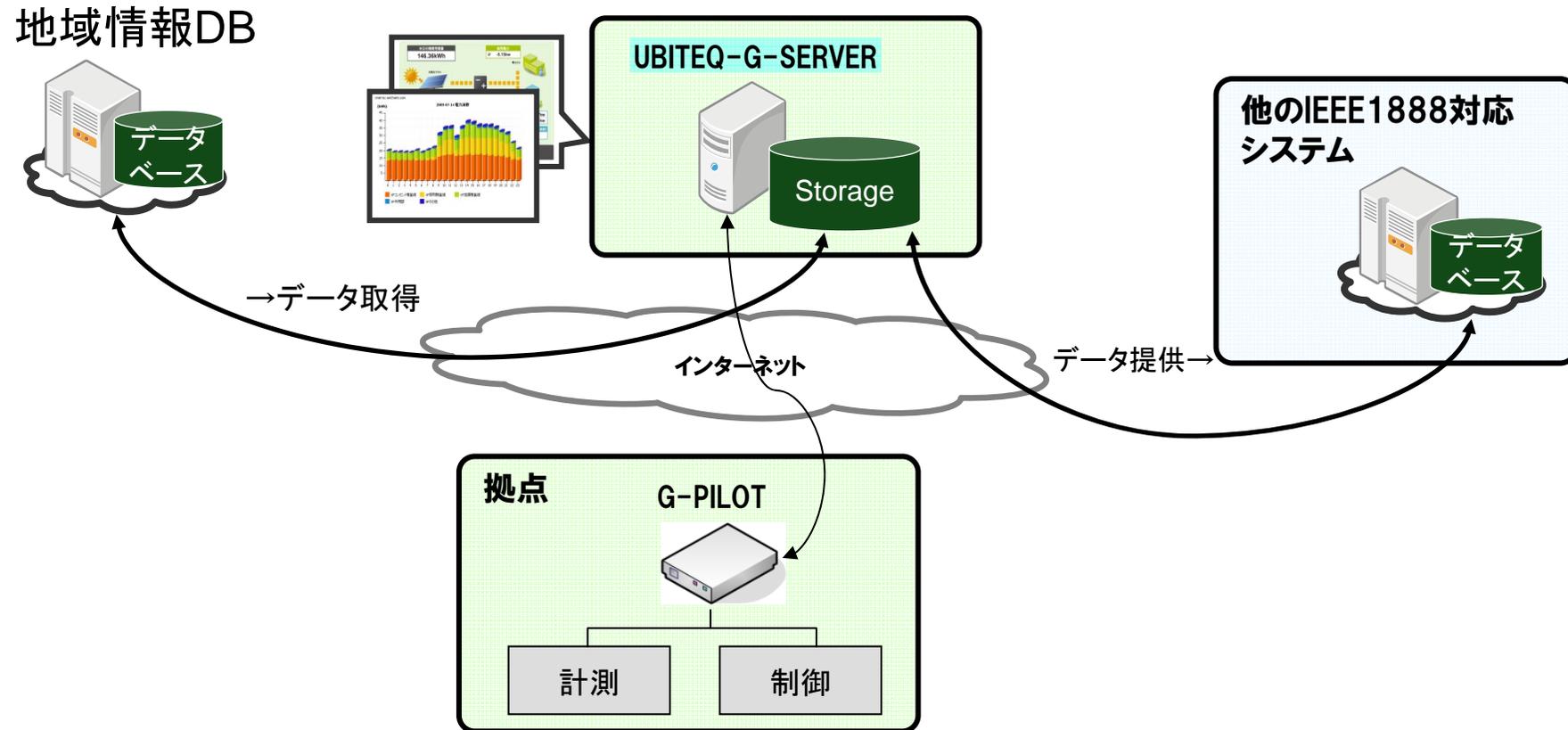
FIAP (Facility Information
Access Protocol)の仕様開発と
実証環境の構築.

FIAPの国際標準化に中国と協業
で成功

2011年2月 **IEEE1888** 承認
中国メンバー: 清華大学, 中国電信
など

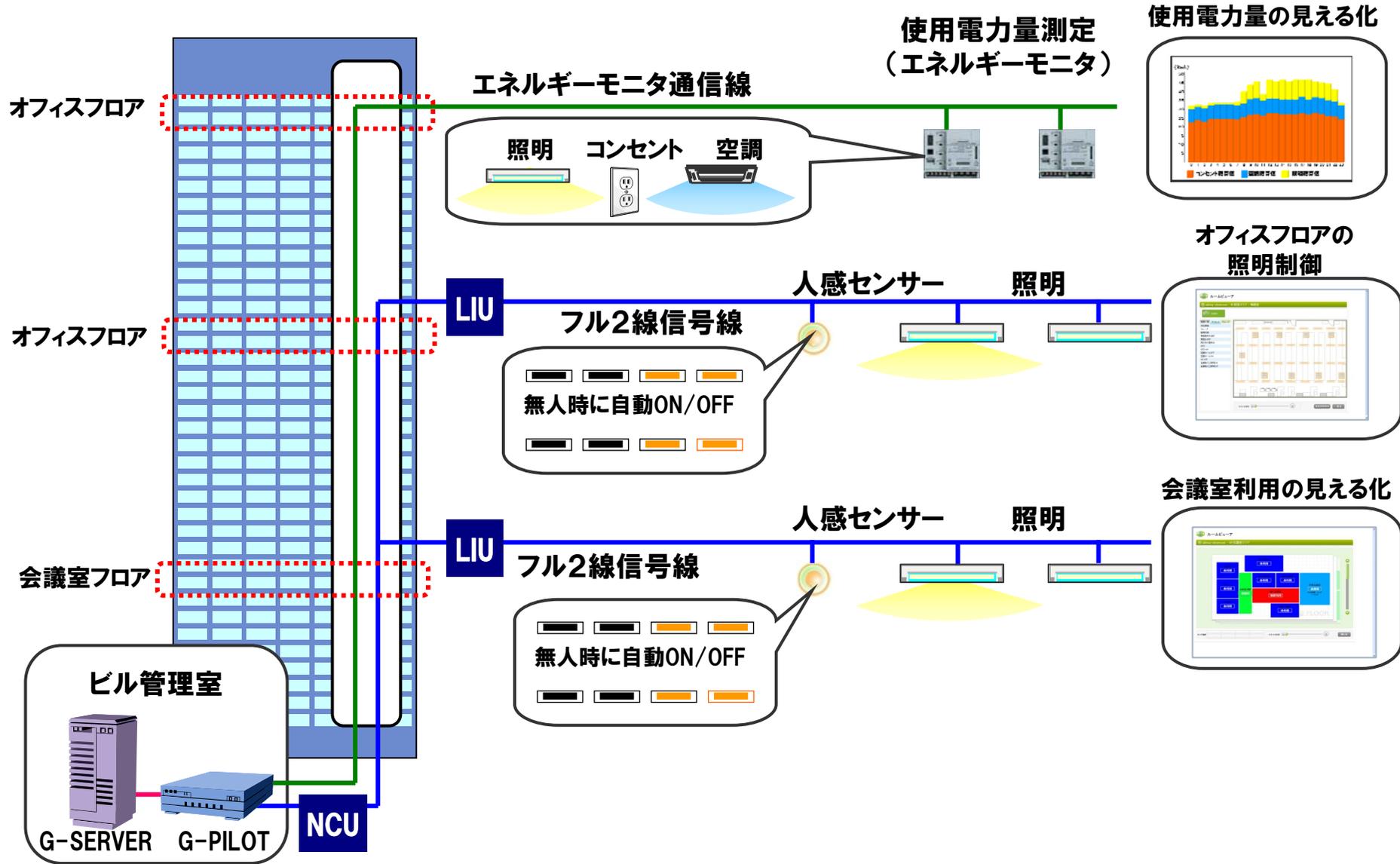
UGSのIEEE1888対応

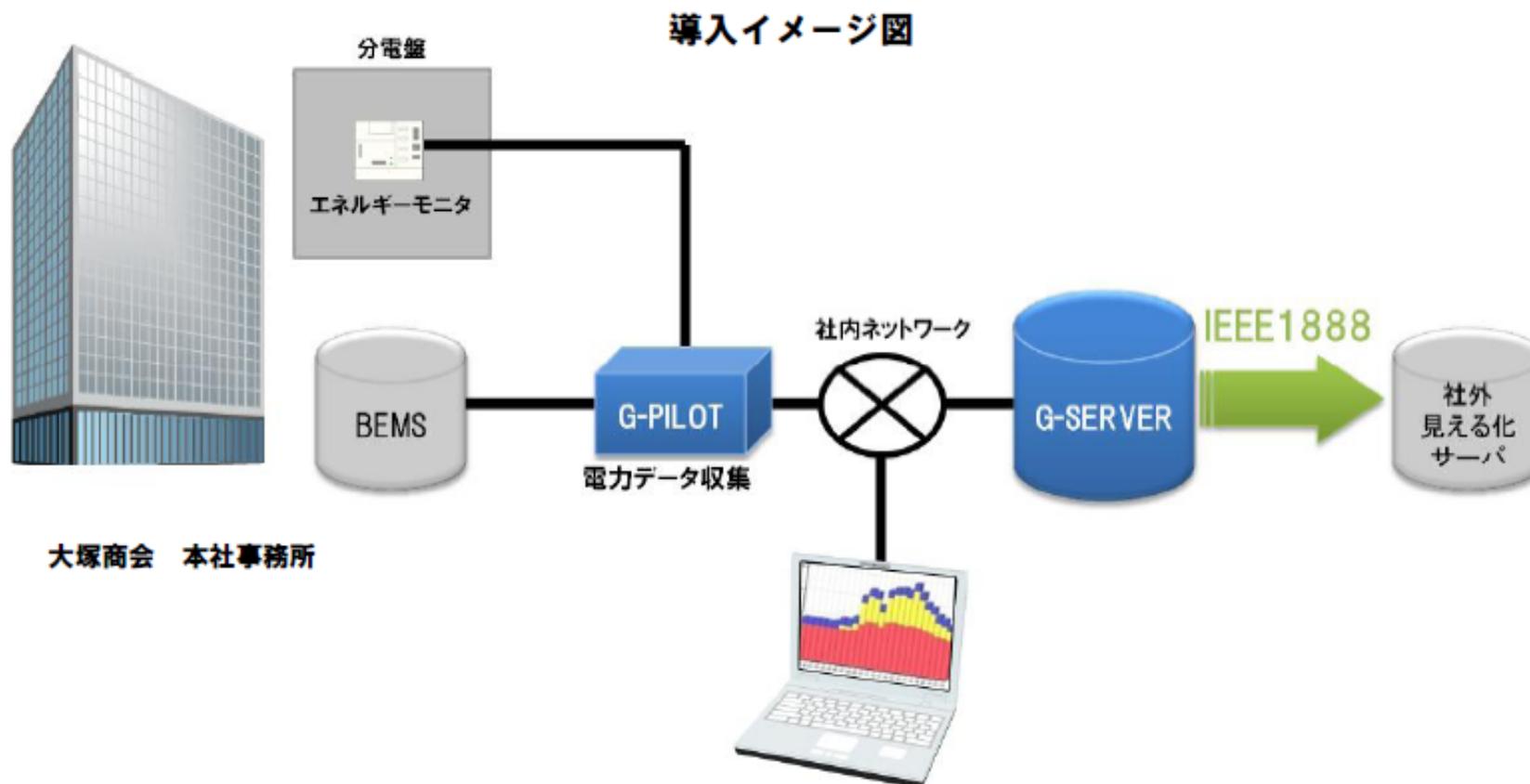
- 2011年6月 G-Server v2.2でIEEE1888対応
 - IEEE1888 Storage機能(外部へデータ提供)
 - IEEE1888 Application機能(外部からデータ取得)

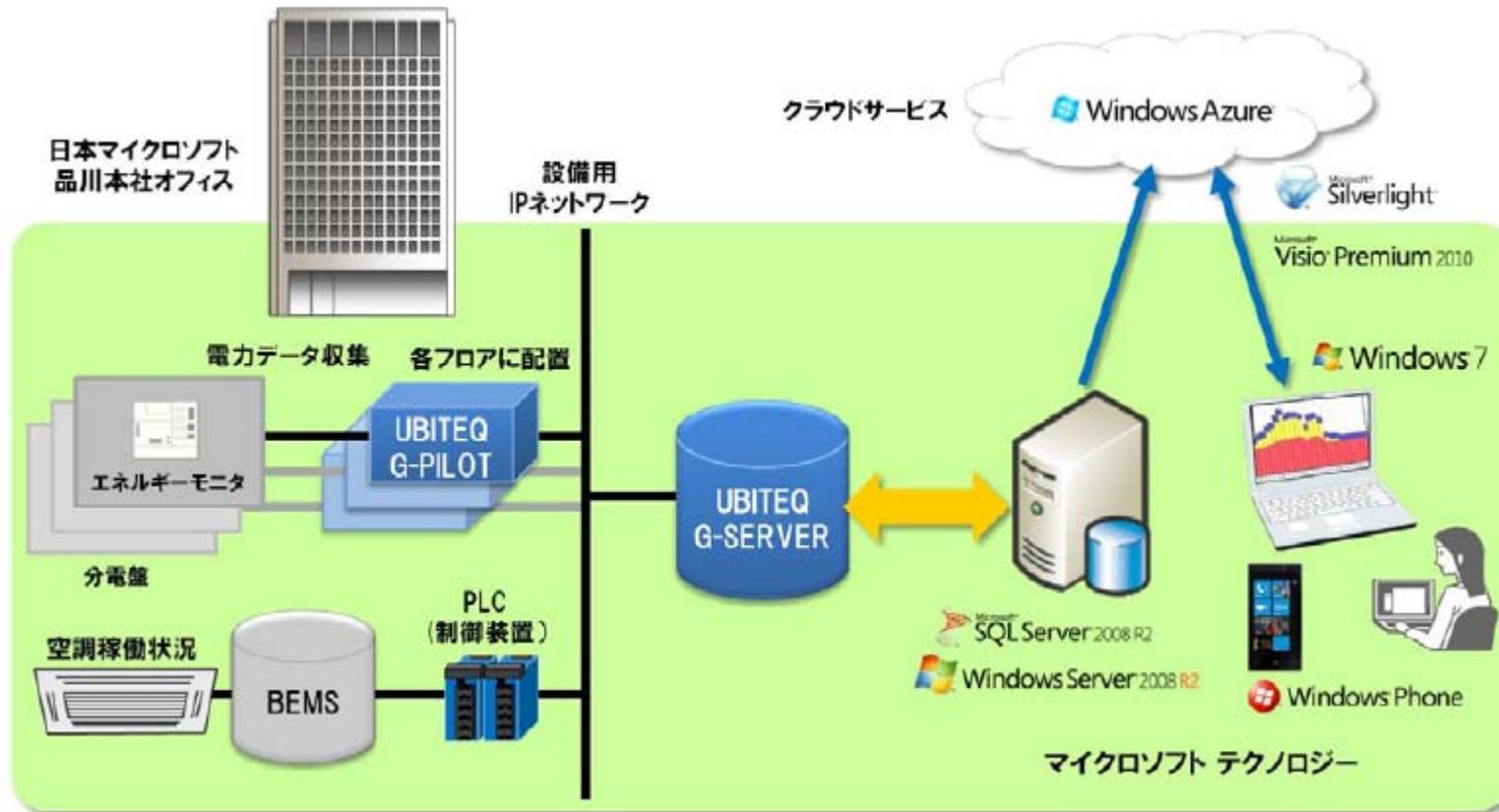


CMJ Sタワー

(2011年2月導入)







導入イメージ図

ユビテック本社でのUGS活用事例

UGSコスト削減効果

UGSなら
下がります！

昨夏、本社オフィスで前年比 **39%** 削減達成！

導入対象

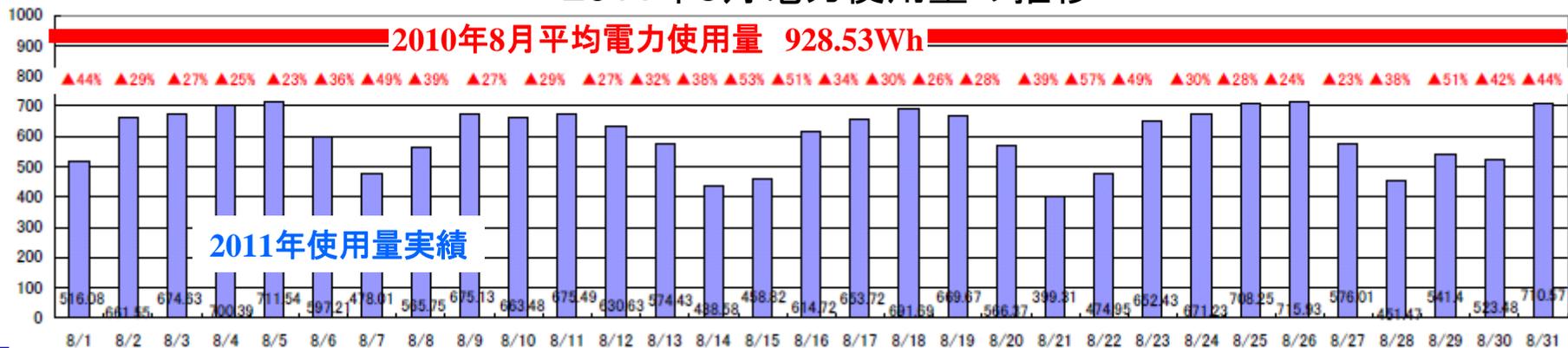
所在地	東京都品川区
業種	製造業
建物用途	オフィス(テナントビル5階、6階)
延床面積	1,173,7m ² ※10階建テナントビル5階、6階
従業員数	約80名
建物	1987年竣工(地上10階建)

導入効果

✓ 月額電気代 **33万円** 減
 ※2010年8月 73万円 → 2011年8月 40万円

✓ 夏季電力消費量 **39%** 減
 ※2011年7月～9月 前年比

2011年8月電力使用量の推移



電力使用状況のHP公開（2012年1月）

当社のホームページ上に、現在の電力使用量と削減率を公開しております。



ユビテックの電力使用状況
現在の電力使用量
011 kw
削減率
72 %
本日の電力使用状況はこちら
電力代推移(前年比)はこちら
現在の電力使用量は、直近1時間のデータを随時表示しています。
削減率は前年同月最大電力(39kw)に対する削減率を表示しています。

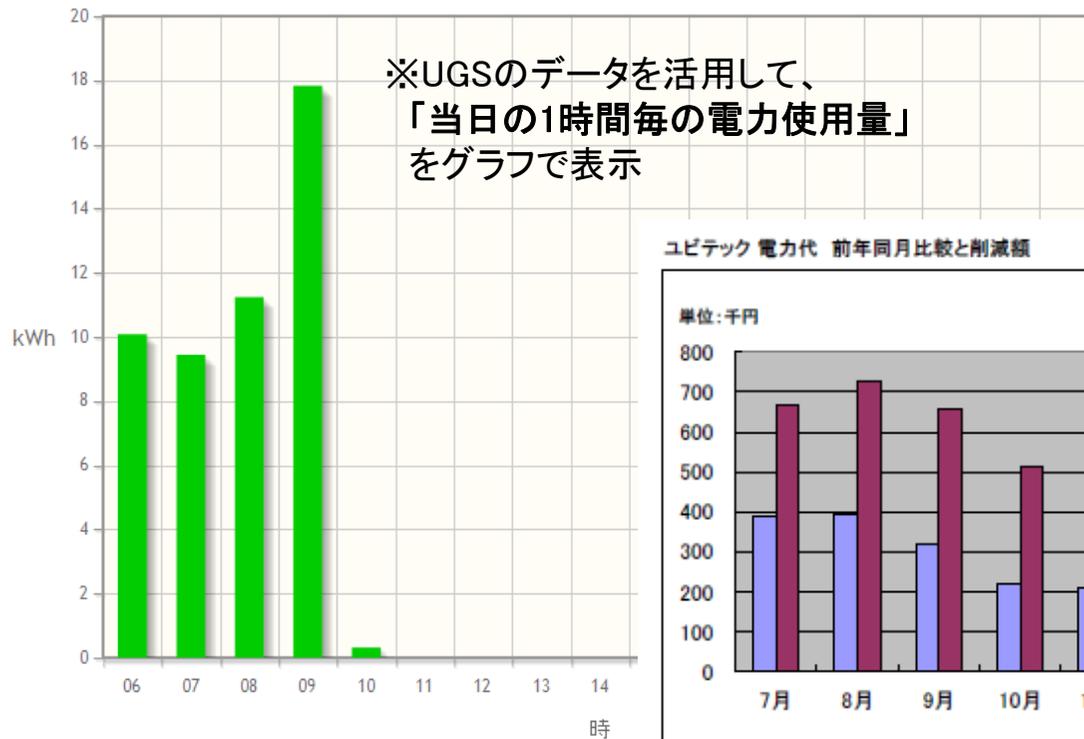
※HPのトップ画面に、「現在の電力使用量」「削減率」を公開

※上記の点線内をクリックすると、「当日の一時間毎の電力使用量」「電力代の削減実績(前年比)」をそれぞれグラフ表示

電力使用状況のHP公開 (2012年1月)

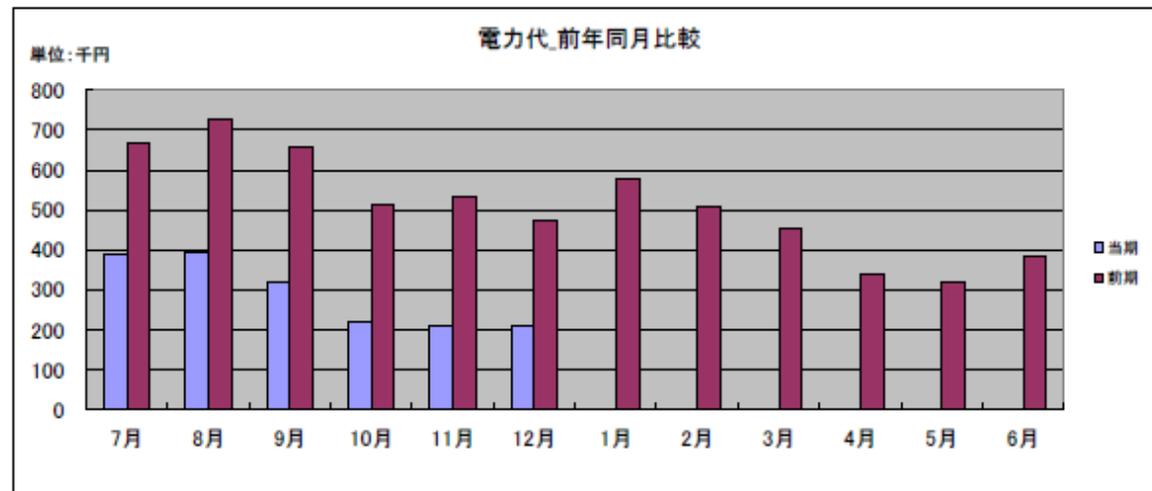
UGSのデータを活用して当日の時間毎の電力使用量を公開しております。
また、月毎の電力代削減実績(前年同月比)も紹介しております。

本社積算電力量 (2012-01-30)



※「当社の電力代削減実績(前年比)」をグラフと表で表示

ユビテック 電力代 前年同月比較と削減額

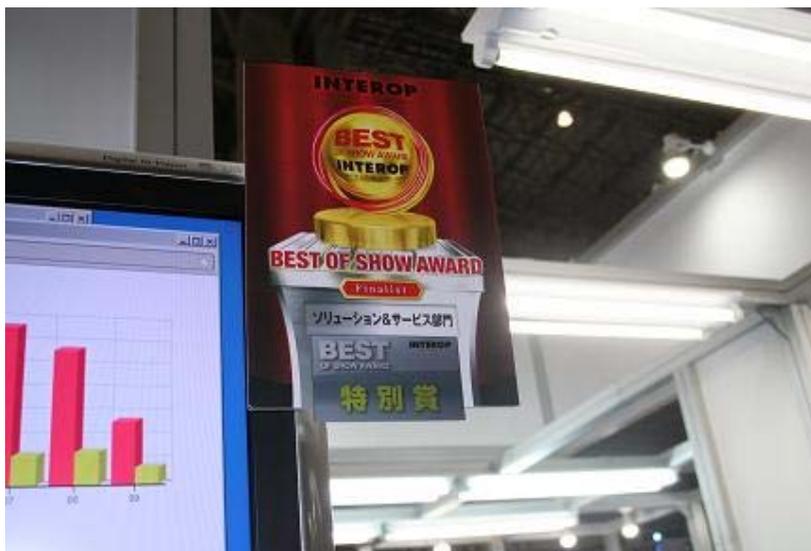


年	2011年						2012年						Total.	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
電力代 (千円)	前期	665	727	655	514	535	472	579	506	452	341	321	382	6,149
	当期	389	396	320	221	212	210							1,748
	削減額	▲ 276	▲ 331	▲ 335	▲ 293	▲ 323	▲ 262							▲ 1,820

※このデータは、翌月15日までに更新致します。

受賞関連

- 2011年6月8日から6月10日に開催された「Interop Tokyo 2011」に当社省エネソリューションのUbiteq Green Serviceを出展
- Ubiteq Green Service出展のポイントは
 - IPv6対応
 - 国際標準の通信規格であるIEEE1888を搭載し、LED電球やオフィス設備機器と接続させ、電力の見える化、自動制御
 - シスコのエネルギーソリューションである「Cisco® EnergyWise」機能に対応
- Interop Tokyo 2011 Best of Show Awardのソリューション&サービス部門で「特別賞」を受賞！



協賛企業

キヤノンITソリューションズ（株）
クロスボー（株）
サンワコムシスエンジニアリング（株）
ディーアイエスソリューション（株）
ネットワンパートナーズ（株）
日本マイクロソフト（株）
—特別協賛：LED照明提供—
（株）大塚商会

グリーンITアワード2011

「ITによる社会の省エネ(byIT)」部門



経済産業省商務情報政策局長賞



グリーンITアワードはグリーンIT推進協議会による低炭素社会実現に貢献する優れた製品・技術・活動に対して表彰を行う制度です。

UGSは「ITによる社会の省エネ(byIT)」に貢献したソリューションとして経済産業大臣賞に次いで優れたものと評価をいただき、経済産業省商務情報政策局長賞を受賞いたしました。

ユビキタス社会におけるユビテックが 目指す事業展開とは？

- グリーンICTプラットフォームコンセプトの実現に向け、事業を推進。
- 将来は、オールネットワークによる連携管理でエネルギーゼロエミッションを目指す。

■ グリーンICTプラットフォームコンセプト



Green Plant

工場・付帯オフィスにおけるエネルギー消費、敷地内の発電設備のエネルギー供給量などを情報通信で統合的に管理。



Green City

Green Plantだけでなく、グリーンICTプラットフォームを通じ地域の発電/蓄電/消費拠点を連携管理し、地産地消社会を実現。



事業拡大の戦略方針

ホップ
サービス事業への大シフト



端末 & ネット & サーバー = サービスビジネスに
集中

- ・カーソリューション
- ・ビルソリューション
- ・家ソリューション

ステップ
戦略的事業提携
販路の拡充



戦略的事業提携:

オリックスグループ事業施策へのユビテック

代理店:

ネットワン、キヤノン、大塚商会

ジャンプ
自社サービス事業

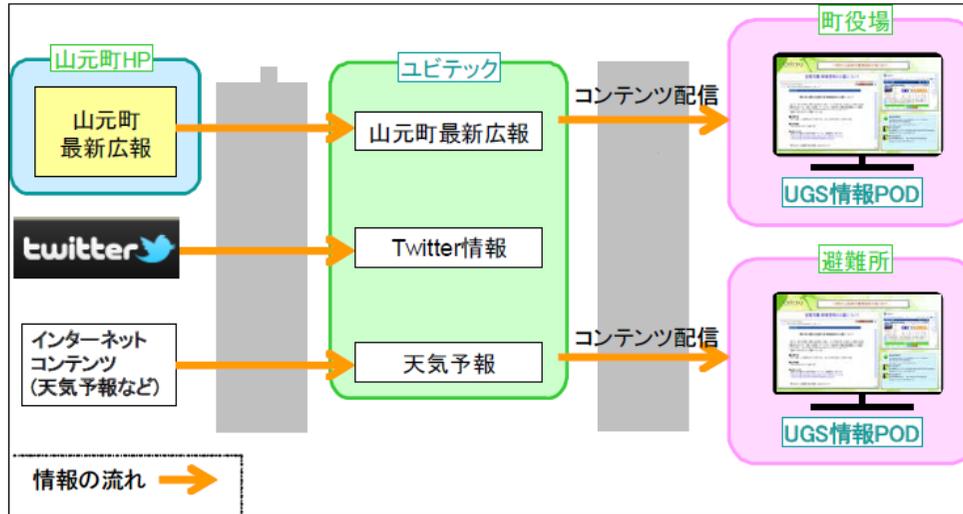
自社サービス事業:

- ・カーソリューション = オリックス自動車
- ・ビルソリューション = オリックス環境、オリックス不動産

ユビテックの技術を活かした復興支援

UGS情報PODの設置 (2011年8月)

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亘理郡山元町に対して、震災復興支援としてデジタルサイネージ「UGS(※)情報POD」を無償提供。



※「UGS」の情報配信見える化機能(UGS-INFO)にTwitter情報を連携させ、パソコンを利用できない方々に対して、役場からの公的情報だけではなく地域の草の根情報等もお伝えできるようにした支援ツールです。



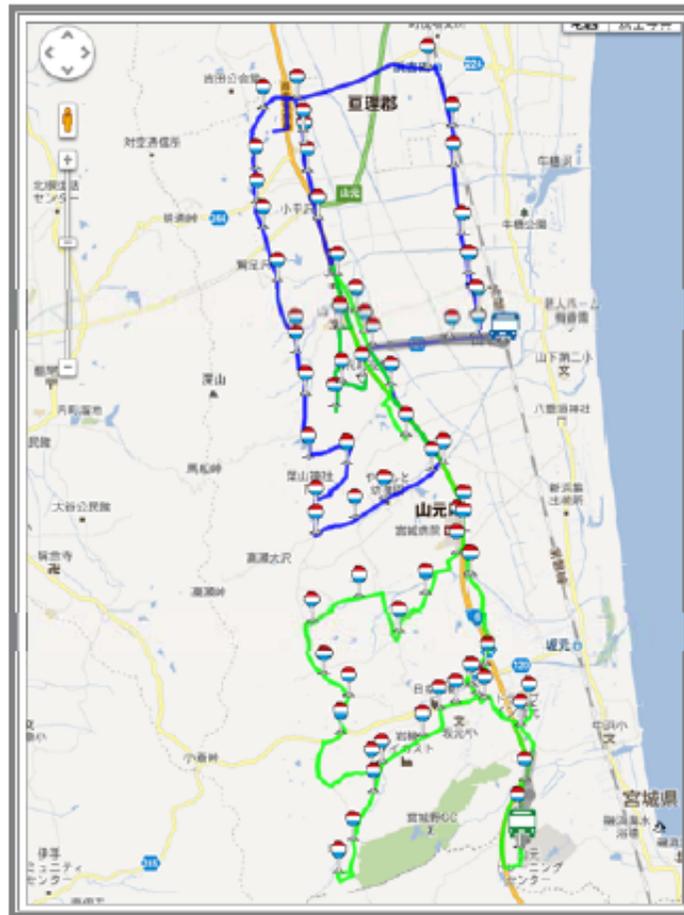
平間英博副町長と「UGS 情報 POD」



ぐるりんマップの提供 (2011年12月)

山元町内の無料巡回バス「ぐるりん号」にGPS等を搭載し、位置情報を連続的にインターネット上の地図に表示するシステム「ぐるりんマップ」を開発し、提供。

ぐるりんマップ イメージ図



山下循環ルート

— ルート

 バス現在位置

坂元循環ルート

— ルート

 バス現在位置

→ 進行方向

 バス停

「ぐるりんマップ URL」
http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/news/gururin_map.html

津波により、JR常磐線の線路が流されたまま復旧しておらず、町内を走行している2台の無料巡回バス「ぐるりん号」がJRに代わる町民の方々の移動手段となっています。

被災による悪路のためバスが予定時刻通りに運行する事が困難な状況になっており、町民の方々のバスの待ち時間の負担軽減のため、バスの位置が即座にわかる「ぐるりんマップ」を従前山元町に寄贈した5台の「UGS情報POD」に表示する事にしました。この情報はPC・スマートフォンからも確認することができます。

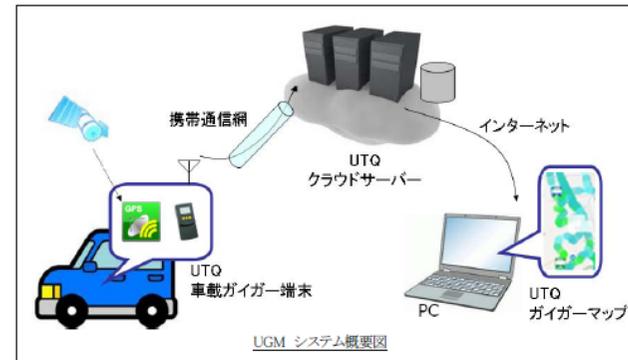
これにより、例えば寒い中停留所でバスを待ち続けるといった不便さの解消の一助となることを期待しております。

車載機計測式ガイゲーマップ「UGM」の提供 (2011年12月)

車載式ガイガーカウンターにより走行経路上で計測した放射線量を連続的にインターネット上の地図に表示するシステム「Ubiteq Geiger Map (UGM)」を開発し、提供。

「ガイゲーマップ URL」
http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/genpatu/gururin_gaigar.html

山元町南部は福島県と隣接し、町民の方々の放射能への不安や関心が高まっており、役場では震災後から放射線量の定点観測を人手により実施していました。また、定点観測地点を増やす施策も取っていましたが、人手による測定には限界があり、対処を要していました。そこで、車載式ガイガーカウンターにより車両にて移動しながら広範囲で迅速に放射線量計測が可能となる「UGM」システムにより町内の放射線量情報を役場のホームページ上に掲載できるようにし、山元町ならびに町民の方々への支援をいたしました。



「自然に出来てしまおう、やりたくなる省エネ」

を先進のユビキタス技術で実現する
新環境ソリューション

わたしたちに出来ることをひとつずつ。

頑張ろう東北！頑張ろう日本！



本日は誠にありがとうございました。

(本資料ならびにIRに関するお問合せ先)

株式会社ユビテック

管理本部 総務課

電話 03-5487-5560 FAX 03-5487-5561

<https://www.ubiteq.co.jp/contact/inquiry2.htm>